

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月 11日

議 会 議 長 様

議席番号 14 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 防災対策の進捗は	<p>近年、地球温暖化により、全世界で農作物の生育不良や海・陸の生態系への大きな悪影響を及ぼしています。また、自然災害の多発や線状降水帯による洪水、最近では令和8年4月22日に出火し、一週間以上も延焼した岩手県大槌町の山林火災、杉戸町では、頻繁に震度3ほどの地震が起きています。災害はいつ、どこで起きるかわかりません。災害から命を守る準備と行動が大事です。</p> <p>私は、毎年のように、一般質問等で防災対策について提案をしてきました。令和7年度には、避難所である小中学校全校の体育館にエアコンが設置され、昨年12月13日に泉小学校での避難所開設訓練に参加しましたが、暖房が入り大変温かったことを覚えています。</p> <p>また、昨年も猛暑でしたが、体育館にエアコンが設置された学校からは喜びの声を聞いています。体育館のエアコン設置は大きな前進だと思います。</p> <p>そこで、防災対策について、以下伺います。</p> <p>(1) 令和7年度、避難所である各小学校で避難所開設訓練を実施したが、成果と課題は。</p> <p>(2) 令和8年度の避難所ごとの訓練の実施内容は。</p> <p>(3) 第6次杉戸町総合振興計画前期基本計画では、地区防災計画策定率の令和7年度目標値を10%としていたが、令和5年度の実績は0.0%であった。このような結果となった所見と原因の分析は。</p>	町長 副町長 教育長 危機管理課長 担当課長

5月11日 午前 8時30分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. ペットボトルキャップ回収事業提案の推進を</p>	<p>(4) 後期基本計画において、地区防災計画策定率の令和12年度目標値を10%とした理由は。</p> <p>(5) 令和8年度に「防災アプリ」が導入されるが、アプリの内容や、活用方法と住民への周知方法は。</p> <p>(6) このアプリは避難支援のみで、災害への備えやハザードマップ、災害情報などバージョンアップできるものなのか、また、今後行っていくのか。</p> <p>(7) 令和6年9月議会において、ペット防災の提案を行った。その後の進捗を伺う。</p> <p>① 杉戸町地域防災計画での災害時のペット避難の考え方について、町民への周知は行ったのか。</p> <p>② 杉戸町地域防災計画での獣医師会との災害協定や協力体制は進んだのか。</p> <p>③ 町として、ペット防災に特化した研修をペットの飼い主を対象としての実施について、検討結果は。</p> <p>④ 町として、「ペット版HUG体験会」の実施について、検討結果は。</p> <p>(8) 令和8年度、災害対策本部訓練の実施は。</p> <p>令和7年9月議会の一般質問において、ペットボトルキャップのリサイクル率が10%にとどまっていることや、キャップ1個当たり、5.7グラムのCO<sub>2</sub>が削減されるとともに、キャップ860個(約2kg)約20円で一人分のポリオワクチン代となり、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付できることなど、ペットボトルキャップ回収事業を提案しました。</p> <p>町は、「回収事業については、環境問題に対する啓発になるとも考えていますので、今後の取組を検討する中で参考にさせていただきたい」との答弁がありました。しかし、「課題もあることから実施することは難しい」とも答弁しています。</p> <p>前回の提案から、まもなく1年が経とうとしていますが、回収事業への見解は。</p>	<p>町長 副町長 教育長 環境課長 担当課長</p>